

次年度に向けた改善方策

- ① 数値目標は、下記項目を設定する。
 - 面接、校内研修により授業内容を工夫改善し、生徒が理解しやすい授業にする。
「授業内容はよく理解できる」という生徒の割合 75%以上を目指す。
 - 全教員と外部指導員で部活動等を充実させ生徒の個性の伸長を図り、充実感を更に高める。
「部活動は充実している」という生徒の割合 75%以上を目指す。
 - 「学び舎」と地域の連携活動をより充実させ、地域と共に育てる教育を推進する。
「地域の活動や行事によく協力してくれる」という地域の割合 75%以上を目指す。
- ② 2年生の学習指導、生活指導、学校行事、部活動等の充実。
 - ・学習指導: 生徒の授業評価、進路指導の充実により自己の目標を持って学ぶ姿勢の育成。
 - ・生活指導: 課題に対するあきらめない指導。一人ひとりが達成したことを観察し適正に評価。
 - ・学校行事: 生徒が立案、自主管理できるよう教師のサポート機能の充実。
 - ・部活動等: 退部者へのケア、学校外の諸活動での活躍を積極的に顕彰する。
- ③ 「桜咲く深緑の学び舎」の諸活動の充実することで、地域との連携を深めていく。
 - ・三校で共通して地域連携活動に取り組む。挨拶運動、地域清掃、行事参加など
 - ・三校で三回合同学校協議会を実施し共通理解を深めると同時に、内容をHPで紹介していく。
 - ・共通して生徒、保護が地域防災活動に参加し、地域の防災機能を充実させていく。
- ④ 学校からの情報発信機能の充実を図る。
 - ・保護者会でキャリア教育の内容理解を図り、HPに重点的に進路情報を掲載していく。
 - ・HPの即時性を高め、防災や安全確保状況を的確に発信していく。
 - ・教科「日本語」地区公開授業、道徳授業地区公開講座などで地域、保護者に取り組みを開いて

前年度の改善方策について実行した改善結果

- ① 数値目標は、同じ項目に設定した。
 - 内容・実施策等を更に検討することにより、充実を図る。全体では微増、停滞であった。
 - ・授業改善、1, 3年生は改善が見られた。2年生が61%の肯定にとどまった。進路指導において2年での目標を各自に明確化することが必要である。
 - ・部活満足度、2年生は前年度と同様。3年生は7%増。1年生は80パーセントであった。途中退部者に対してしっかり対応し、この高水準を保っていきたい。
 - ・地域からの評価、前年度と母数が異なるため単純比較はできないが、否定的回答が減少傾向にあり、本年度は12%であった。地域防災の充実をさらに図っていく。
- ② 土曜授業参観日を増設する。
 - このことにより、保護者の学校教育への参加・協力する意識等の向上と、学校教育への信頼を増す。
 - ・2回とも8割に近い保護者の参加があった。学校教育への理解を増すことができた。
 - 午後には保護者、教職員との交流に係る球技大会で親睦を深めた。
- ③ 校内の特別委員会として、「地域活動委員会」を継続する。
 - このことにより、深沢中型の地域連携の在り方と具体的な行動を推進し、学校・保護者・地域が一体となって生徒の成長を促す。
 - ・学び舎グループとしてねぶた祭り、各小学校の祭りに参加するなど質的な改善が図れた。
- ④ 特別委員会として「情報管理・HP委員会」を継続する。
 - このことにより、情報の管理、情報の伝達等を的確に行い、保護者・地域等からより信頼される学校づくりを推進する。
 - ・評価結果によると、ホームページ活用状況に変化はない。即時性を高めていく必要がある。